



「老朽原発うごかすな！」集会(12月3日大阪うつぼ公園)



今年も三宮マルイ前で続けられた市民デモHYOGOの行動



「世界で最初に飢えるのは日本」とシヨッキングな演題で平和のつどい講師の鈴木宣弘さん(12月23日)

パレスチナやウクライナで、戦禍の中、人間が死んでいきます。未熟児たちが新しい年を迎えることなく次々に死んでいきます。

ただちに停戦せよ！国連は機能不全のままです。日本の首相は、被爆国、平和憲法の国の首相として世界中に恥をさらしていきましょう。

キックバックって「文化」！？こんな政治はもう「メン

来年こそ平和な年に
NO!戦争とカネまみれ

憲法を生かす会・灘

毎月二五日
憲法を生かす会・灘 発行

ニュース

238号

2023年12月25日

神戸市灘区天城通
3-5-19

TEL.078-801-8448

FAX.078-801-8899

nsp-nada@vega.ocn.ne.jp

12月25日現在
《呼びかけ人》 38人
《会員》 66人・5団体
《賛助会員》 65人
個人会員の会費は年三千元
賛助会員の会費は年千円以上
◎呼びかけ人と会員は募集中

郵便振替口座：
00900-4-204718
憲法を生かす会・灘

1月28日(日) 14時～ 動物園ホール (サブグラウンド西)



- 1めん 王子公園と神宮外苑つなぐ大集会(1月28日)
- 2めん 被爆と平和憲法を生かす新しい年に／先輩・仲間の団体から
- 3めん タスキ裁判を応援する会／ボクの昭和／いのち
- 4めん 高橋まつりさんの過労自殺から8年／川柳／編集後記



主催：「王子公園・市民ミーティング」実行委員会

二人の原告と裁判を闘った
森博之弁護士、お疲れ様でした。



灘郵便局に働く非正規の仲間2名がタスキの不着用を理由に、不当な人事評価の引き下げ撤回を求め、裁判で闘った「タスキ裁判」。そして原告たちを支えるため結成されていた「タスキ裁判を応援する会」。大阪高裁の判決を不服として最高裁に出されていた上告受理申し立てが棄却されてしまいました。

12月17日に「応援する会」は解散し、第2ラウンドの闘い開始を決めました。

終わらなし！職場の闘い

「タスキ裁判を応援する会」は解散したけど

■高校にはあだ名のついた教師がいきました。

ガンテツ、ジェンジェン、カバ、カニタマ、タニキョー、マンゴローなど。あだ名があつて、それが引き継がれているという事は、それだけ長く在職しているつてことなんですよ。

当時はいたければ同じ高校にずっといることが出来たのだからか。それともどこも引き取ろうとしなかったのか。いかにも優秀だなと感じていた国語のI先生は日比谷高校に移つていったしなあ。

■ガンテツは物理の教師。きびしいことで知られた60歳に近い風貌の先生だったが、体育祭では生徒に交じつて徒競走を走ることとした。旧制高校の教師はこんな感じだったのかも。

ジェンジェンは九州訛りが取れなくて、そのままあだ名になった。

■カバは風貌のまんま。東大の東洋哲学を出たと聞いたが、「音楽の教師がいなかったので、趣味が高じてそのまま」ということだったらしい。

カバさんは10点評価で全員8以上

をくれるのだが、落研の上級生に7をつけた。職員室に行き「これはどういうことですか？」と問うと「君は落語の中で、ぼくの悪口を言つたろう」ということなんでした。

■カニタマ、タニキョーはともに体育の教師で、カニタマはがに股をもじつたもの。タニキョーは知らない。

マンゴローは漢文の教師。「漢文だから中国だよな。満洲でゴロゴロしてたことにして、マンゴローでどうだ？」という同級生のTの発案なんでありました。

■あだ名で呼ぶ教師がいるこの高校は、生徒ものんびりしていました。浪人してから目の色が変わるというふうでしたので、ボクの学年は7割がた浪人したようです。落研は浪人すべしという不文律があったんですが、ボクの同期は3人とも現役で大学に入ってしまった。たまたま浪人したボクが3人分ひつかぶって、先輩たちのメンツを立てたんです。

(なるみやすし りょうこう医療生協・元理事長)

いもち 238 ▼「県民の心情」に寄り添った政策が求められている」とは、辺野古新基地建設を巡る「代執行訴訟」で福岡高裁那覇支部の不当判決の最後にある言葉。東京新聞が書いているが、代執行OK判決の裁判所は、誰に對しての言葉なのか？

▼「寄り添う」という言葉、本来は人と人との関係で優しさを表す言葉なのだろう。

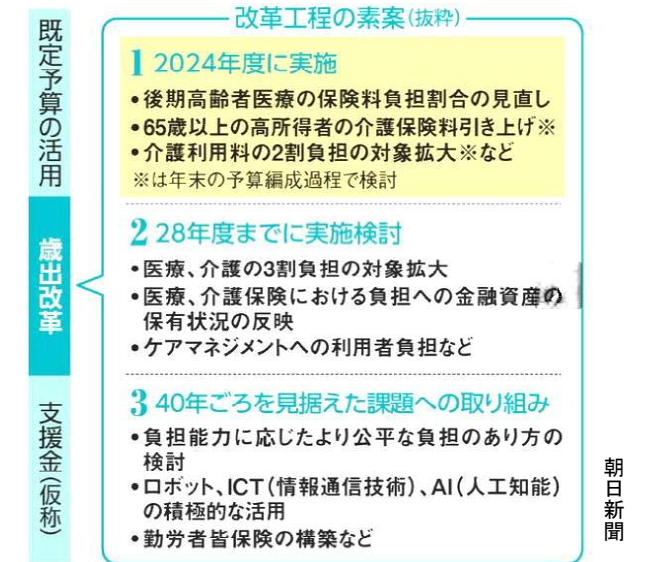
だが、政治の世界で使われると、とくに権力やそれにつながる側が使うと、実際には厳しさや冷酷さを覆い隠す場合が多い。信用ならない。

▼不当判決が出た日、玉城デニー知事は肺炎療養で入院中のため副知事が代読した。

ところで、判決文末尾にある「県民の心情」とは、2014年以降に3回の知事選や県民投票までやって「普天間の辺野古移設反対」が民意であり、「県民の心情」であることは誰が見ても明らかだ。

▼結局、言葉だけが上滑りし、国にシッポを振る裁判所。私たちは、沖縄知事を励まし沖縄県民の心に応える政治へ、みんなを変えていこう。

ウクライナ、パレスチナのガザ地区 戦争と平和の問題も、貧困状態も年越しに



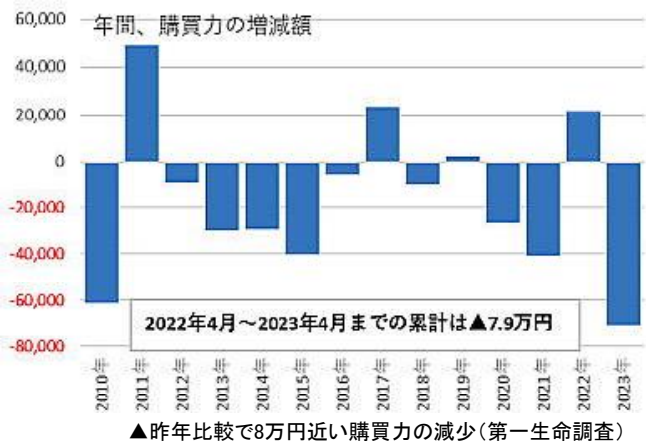
◆古くて新しいのは自民党とお金の問題、今度は「バレーボールキックバック問題」として出てきました。旧統一教会の問題も、うやむやに新しい問題が次から次に出てきます。

◆屋久島沖で墜落し全員死亡の米軍機オスプレイ。東京新聞が「生産終了のオスプレイを輸入するのは日本だけ」と、さらに「そもそも日本に必用だったの

か」と、キャンペーンを開始しました。米軍のために税金使い、殺傷兵器を輸出するなど認められません。

◆自民党に秋波を送る連合会長、しかし現場の労働者は、物価急上昇で生活苦にあえいでいます。医療費・介護など自己負担が増え続け、いまや生活保障ネットはほとんど機能不全状態。

◆これだけの不満や怒りの声を集め政治を変えよう。



なかまの団体、先輩団体からの通信・会報

許すな！憲法改悪・市民連絡会

- 私と憲法(271号)
- 平和憲法を世界に生かすとき
 - 岸田改憲の隘路
 - 市民憲法講座 維新が奪った「命・人権・文化・自治」～大阪の13年を振り返る

神戸学生青年センター

- 市民環境セミナー ※参加費1000円
- 「今、なぜ、有機農業が注目されているのか？」
- コウノトリが教えてくれたもの—
- 2024年1月20日(土) 午後1時30分～3時
 - 西村 いつきさん(兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科客員准教授)

自由民権150年高知県実行委員会ほか

- 「今の政治に 土佐から吠える」 参加費:無料
- 2024年1月21日(日) 13:30～16:00
 - 高知市立自由民権記念館
- <記念講演> 13:30～14:20
- 「自由民権の現代的意義」 公文豪さん
- <3ジジ放談—デモクラシータイムス>14:30～
- 平野貞夫、佐高信、前川喜平の3氏
- ※なお、1月24日午後0時30分から、幸徳秋水を顕彰する会主催で秋水刑死113年墓前祭と記念講演会

「今でもまつりがケーキを抱えて帰ってきてくれる気が・・・」(母の幸美さん手記要旨から)

クリスマスの朝、高橋まつりさんの過労自殺から8年



2015年12月13日、東京銀座のレストランが二人の最後の食事となった
高橋まつりさん(右)と母の高橋幸美さん (毎日新聞)

2015年のクリスマスの日から長くつらい8年間でした。今でもまつりがケーキを抱えて帰ってきてくれるような気がします。でもどんなに待ちわびても帰ってくることはなく、愛する娘を失った悲しみは癒えることはありません。

電通は7月に「ハラスメント撲滅・防止宣言」を発表しました。労働環境の改善を行い、社員が生き生きと働ける取り

組みを継続してくれると思います。まつりが生きていたら32歳。人生も仕事もいっぱい頑張つて、たくさんさんの愛する人と人生を分かち合い、幸せな人生を生きていたに違いありません。二度と社員がまつりのような思いをすることがないように取り組みを続けて、社員の健康と命を守り、生き生きと働ける会社であることを願っています。

この8年間で長時間労働に対する国民の意識は少しずつ変わってきたと思います。しかし、過労死や勤務問題を原因とする精神疾患は増加しています。過労死された医師や宝塚のハラスメントの出来事は本当に悲しいことです。長時間労働が当たり前の医療現場や、厳しい上下関係を重んじてきた劇団の文化は、当時の電通の社風が思い起こされてなりません。人としてもビジネスの上でも最も大切なことは、働く全ての人の人権を尊重した経営を行うことです。どうか経営者の方は人権侵害に対して確固たる姿勢で経営を行ってほしいとおもいます。

昨年、私は子宮体がんを診断されました。まつりを悲しませないように、手術を受け、抗がん剤治療を乗り越えました。体調は完全ではありませんが、過労死防止活動が続いています。誰もが安心して働ける国、希望を持って人生を送れる国になるよう、まつりと共に力を尽くしていきたいと思っています。

(東京新聞)

2016年9月、まつりさんは長時間労働が原因の労災認定がされた。検察は17年7月労働基準法違反罪で法人・電通を略式起訴し、東京簡裁が正式裁判を開いて罰金50万円の判決が確定した。事件は働き方改革推進のきっかけになった。

編集後記 へんしゅうにき 編集後悔記

▼「お答えは差し控えます」の連発だったバックキック問題。総理や選挙制度が変わっても、変わっていない自民とカネ。増えるは政治不信、減らずはため息。

▼かつて「廊下の奥に立ってた」と言われた戦争。いまやテレビのニュース解説は防衛省の独壇場。

▼季節も政治もおかしかった2023年。来年は、ぜひ良い年にしましょうね。

俳句・山柳

募集中

カネまみれ
奢るアベ派の
断末魔

森友や加計、桜、統一教会疑惑のど真ん中にいたアベ晋三。取り巻きの口裏合わせで生き延び、死して国葬。そのアベ派が長年のカネまみれが発覚し、断末魔の声を上げている。

「おはよう川柳」(12・21)